



TAIHEIYO CEMENT NEWS LETTER

2024年7月24日

廃コンクリートとCO₂からできるカルシウムカーボネート コンクリートブロックの製造技術を開発

太平洋セメント株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：田浦良文 以下、当社）は、東京大学の野口貴文教授をプロジェクトマネージャーとするNEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）ムーンショット型研究開発事業「C⁴S*研究開発プロジェクト」の共同実施者として、空気中のCO₂を廃コンクリートに固定化し、その上で圧力をかけて固化するカルシウムカーボネートコンクリートブロックの製造技術を開発しました。

当社はこれまでに培ってきたセメント・コンクリート系材料に関する知見を生かし、今回のプロジェクトにおいては、主にカルシウムカーボネートコンクリートの「硬化プロセスの検討」と「部材製造」に関わる研究開発を担っております。

なお、本プロジェクトは7月24日に東京大学において公表・会見を行っており、詳細については以下URLからご覧いただけます。

<東京大学工学部プレスリリース>

<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/press/pr2024-07-24-002>

当社は2022年3月24日に太平洋セメントグループ「カーボンニュートラル戦略2050」の技術開発ロードマップおよび2030中間目標を公表し、2050年カーボンニュートラルに向けた技術開発を推進しております。今回開発されたカルシウムカーボネートコンクリートの技術は、セメント製造技術以外での取り組みの一つである「CO₂吸収源の創出」に位置付けられており、CO₂を固定しながら建設材料のサーキュラリティへの移行を支援できることから、サステナブル社会への貢献も期待されます。

今後も当社の技術開発力をもって、本プロジェクトの成功、さらにはカーボンニュートラルの実現に向けて貢献してまいります。

* C⁴S: Calcium Carbonate Circulation System for Construction
(建設分野の炭酸カルシウム循環システム技術)

<本件に関するお問い合わせ先>

太平洋セメント株式会社 総務部 I R 広報グループ
TEL. 03-5801-0334 FAX. 03-5801-0344
e-mail. ir-com@taiheiyo-cement.co.jp